

令和7年度 社会福祉法人こうち福社会事業計画（案）

障害福祉サービス事業	I. ライフ・ステージ	あおぞらセンター	(定員 20 名、支援員 4 名)
	II. ライフ・ステージ	蒼空舎	(定員 40 名、支援員 9 名)
	III. ライフ・ステージ	第2あおぞら	(定員 20 名、支援員 4 名)
	IV. ライフ・ステージ	春乃群青	(定員 20 名、支援員 4 名)
	V. ライフ・タウン	あおぞらホーム	(定員 104 名)
	VI. ライフ・タウン	蒼空舎ホーム	(定員 9 名)
	VII. ライフ・タウン	群青の風	(定員 8 名、短期 1 名)
相談支援事業	VIII. ライフ・サポート	あおぞら	

1. ライフ・ステージ あおぞらセンター

A. いきいき工房 クッション、菓子袋詰め、薬味入れ、乾燥こんにゃく

サービス管理責任者 : 林 愛佳

1、メンバー活動

- ・毎朝の散歩、月2回～3回の体操教室、日々のラジオ体操を取り入れ体力づくりを行っていく。
- ・作業活動を通して、身だしなみや言葉使い、他者との協力を促し本人が持っている作業能力を生かされるよう言葉がけしていく。
- ・歌や、陶芸、映画鑑賞、外出行事等も取り入れ、作業のメリハリをつけ余暇も充実させていく。
- ・手洗い、消毒、感染時にはマスク着用、歯磨き支援等、活動時間の中で生活スキルが少しでも向上できるように、見守りや言葉がけ等をしていく。

2、作業内容

(1) 受託製造

環境機器と取引を行う。6種類程度の軽作業を行う。ホコリ対策として喚起や白衣、作業帽子、マスク着用を促す。また、納品時期に間に合うように資材の発注を早めに行っていく。

(2) 内職作業

- ①高知県特産品販売から請け負う食品内職。4種類程度の内職を行う。食品ということもあり、爪切りや入浴等の衛生面の言葉がけをしていく。いきいき工房内だけでなく、センター2階全体作業として協力して取り組んでいく。
- ②パステムマツザワからの内職作業。2～3種類の薬味を小袋に入れていく。入れ間違いを起こさないよう支援者がシーラーをかけダブルチェックを行い大袋に入れていく。保管には細心の注意を払う。
- ③乾燥糸こんにゃく。販売数が年々減少傾向にはあるが、生協やよさこい工房、給食の利用を行っていく。

3、目標売り上げ

いきいき工房全体の令和7年度の売り上げ目標は2,700,000円とする。

4、課題

重度利用者、高齢化も目立ってきている。本人ができる範囲の作業を細分化し協力しながら取り組んでいく。また、作業以外にも余暇活動を取り入れメリハリをつけた活動を提供していきたい。

B. あおぞらファクトリー あみおり工房

1、メンバー活動

- ・いきいき工房同様に、余暇活動（陶芸、歌、外出行事）や朝の散歩や体操を取り入れていく。
- ・一人一人の目標を意識して取り組み、意欲の向上ができるよう支援していく。
- ・手洗い、消毒、感染時にはマスク着用、歯磨き支援等、活動時間の中で生活スキルが少しでも向上できるように、見守りや言葉がけ等をしていく。

2、作業内容

蒼空舎からの内職作業として、編み落としされた軍手のミシン、検品の工程に分かれ作業を行う。製品については、在庫データを蒼空舎と共有し管理していく。また、防寒用手袋等の下請け作業に関しても協力して行っていく。

3、課題

同じ空間で作業が難しいメンバーには個別対応を行う必要がある。一人一人の特性を把握しチームで支援していくことが課題である。

C. よさこい工房 食品加工

令和7年度よさこい工房売上目標（あおぞらセンター+蒼空舎） 17,052,000円

1、メンバー活動

令和6年10月より新しくひとりの利用者を迎え、利用者5名体制で作業にあたっている。新人の育成はもちろん、既存の利用者のそれぞれの力量を引き上げるとともに、スムーズな作業のための連携の取れたチームワークを育ていけるように支援・指導していく。

2、作業内容

- 県外・県内向けジャム・マーマレードやおかず味噌、佃煮、ジンジャエール、シロップ等の製造と販売。
- ・原材料の下処理作業。
 - ・商品の計量・ビン詰作業。

- ・ラベルやシール貼り、シュリンク接着作業。
- ・出荷用梱包箱づくり等。
- ・県内でのイベントでの販売・接客業務。
- ・蒸した生姜の細粉加工や原木椎茸の乾燥、持ち込まれたゆず粉の袋詰などの作業。
- ・自所農園で育てた大根の千切りや梅干し用紫蘇の塩揉み等。
- ・どくだみ栽培や採取、選別、裁断、乾燥作業等。

2、目標売り上げ

令和7年度売上目標は**17,052,000円**。内訳としては、主要取引先（特産品販売・五味商店・外販組合・アグリコレット・ヘルスライフ）への販売6,240,000円、その他中・小規模の取引先への販売8,784,000円、日曜市・バザー販売960,000円、生姜の細粉加工や袋詰作業618,000円、その他乾燥どくだみの販売など450,000円。

3、課題

原材料・副原料・消耗品・包材等々すべての資材が値上がりをしているため、原価の高騰による利益の減少が課題。仕入れ先の再選定や原材料の内製化などを進め、原価の圧縮に努める。また、同一商品に複数の規格（内容量など）があるため、管理業務が煩雑になっている。人為的なミスを減らすため、出来るだけ規格を絞り作業の簡略化とマニュアル化を進める。合わせて、生産キャパシティの拡大の為、作業工程の見直しや効率化、作業の機械化を模索し、生産性の向上を図っていく。

II. ライフ・ステージ 蒼空舎

A. あおぞらファクトリー あみおり工房

管理者：黒沢 圭子

1、メンバー活動

- ・メンバーへの支援については、障害特性に配慮し、メンバーが安定して過ごせるよう共通した支援を行う。
- ・メンバー1人1人の目標を意識して取り組み、意欲の向上、達成感を感じることができるよう支援していく。
- ・希望するメンバーについては、納品にも同行し、自分たちが作った製品の利用シーンにも触れることで、具体的なイメージを持ち、作業意欲に繋げていく。また、顧客とのやり取りを通じて、礼儀やマナーを身につけていく。
- ・日々の検温、手洗い、健康管理等を継続し、今後も感染対策を徹底していく。

2、作業内容

- ・作業用軍手の製造販売

メンバーは、ミシン、検品、結束の工程に分かれ作業を行う。顧客からの注文に、柔軟に対応できるように、在庫確保に取り組んでいく。

- ・下請け作業（防寒用手袋、靴下）

温暖化、安価な中国製の影響を受け、作業量が減少すると思われる。また、短期間での納期となり、作業に追われることも多い為、入荷時には計画的に作業を行う。

3、目標売り上げ

あみおり工房全体売上目標 10,000,000 円

- ・「販売管理システム」の活用。

帳票自動化による業務削減。

各事業所の在庫管理。（蒼空舎・あおぞら間の在庫の見える化）

売上分析による販売強化。

- ・利益率の高い製品の販売を強化する。

リサイクル糸の活用。（フタガミでの販売強化）

オーダー商品への対応。

4、課題

- ・個別対応が必要なメンバーへの支援。

ケース会での検討。医療との連携。

- ・原材料費の高騰。

不良率を抑える、リサイクル糸の活用等に取り組む。新たな仕入先の開拓。

B. あおぞらカントリー 畑ばたけ

リーダー : 宮内 知志

1、メンバー活動

- ・農業生産・販売活動を、個々人に見合った作業を行ってもらおう。
- ・作業を通し、言葉遣いやコミュニケーションの取り方、清潔動作などを支援していき、社会参加できるように自立を促していく。

2、作業内容

- ・原木椎茸栽培：駒打ち作業・原木移動・ハウス内環境整備。
- ・キクラゲ栽培：菌床設置・収穫・手入れ・仕分け・パック詰め・ハウス内環境整備。
- ・露地栽培：播種～定植作業。圃場整備、草引き水やり。
- ・果樹栽培：圃場整備、収穫、剪定作業。

3、目標売り上げ

畑全体目標売上 4,000,000 円

4、課題

- ・新規利用者の受け入れ
積極的に実習などを受け入れ、作業の満足度を感じてもらい施設利用に繋げていく。
- ・資材の高騰
資材の購入先、購入方法を見直す。

C. 配食・グループホーム献立、食材配給

リーダー：川村 哲也

1、メンバー活動

- ・グループホーム入居者の朝食、夕食のメニューに沿った新鮮な食材で、満足感が得られる量の食事を提供する。
- ・メンバーへの支援には、各支援員が個々の障がい特性を理解し、情報共有して活動の中で、やりがいを持ち安定や喜びが得られるように支援を行う。
- ・日々の検温、体調管理を行う。こまめな手洗いを習慣づけ、感染予防に努める

2、作業内容

- ・職員はメニュー作りから食材の調達、メンバーは各グループホームの人数分を仕分けて、配達までを行う。
- ・メンバーは計量や包丁を使っての野菜のカットなどを行い、出来ることを増やしていく。
- ・職員は新鮮な野菜、肉を安価で仕入れが出来る様に仕入れ業者との関係を深め食材が高騰しても質を落とさない様に複数の取引先を確保する。

3、目標売り上げ

グループホーム配食の売上 22,000,000円

メンバーの平均工賃を目標の3万円に設定し、日々の物価高騰に注視して仕入れ先を複数確保することで利益を落さない様に努める。

4、課題

- ・新規事業で、作業の流れなどが確立できていない為に何処までをメンバーの作業とするのが課題となる。
- ・メンバー個々の能力を最大限引き出すための見極めが必要。

D. あおぞらファクトリー 野菜工房 蒼空舎従たる事業所

リーダー：江渕 恵

1、メンバー活動

- ・毎日の体調管理を行い、玄関での検温、消毒、マスク着用を継続して行っていく。

- ・年1回の健康診断の実施。
- ・ISO9001の取り組みを理解し、衛生講習等を行い衛生レベルの向上を目指す。

2、作業内容

- ・サニーマート総菜工場→野菜の下処理、冷凍の計量袋詰め、粉の計量袋詰め。
- ・北川村ゆず王国→ゆずの酢袋とり、皮のトリミング。
- ・やまくに→いりこ割、エラ、内臓の除去。いりこの粉の計量。
- ・よさこい工房→生姜スライス、文旦かわはぎ。

3、目標売り上げ

総売り上げ目標 8,500,000円

- ・サニーマート (4,600,000円) ・ゆず王国 (3,500,000円)
- ・やまくに (200,000円) ・よさこい工房 (200,000円)

4、課題

- ・包丁使用者の育成、個々のスキルアップ。
- ・ゆずの売り上げを伸ばすためメンバーの配置等の検討。
- ・よさこい工房と連携をとり、自社製造商品の下処理に取り組む。

E. あおぞらカンパニー

1、メンバー活動

- ・委託先での作業を通して、人との関りを通して、社会性を身につけ、1人1人が主体的に、役割を持って働けるよう支援を行う。
- ・手順にそった作業を行い、支援員が点検、確認を行いながら、丁寧な作業を意識して取り組む。
- ・感染対策として、入室前の検温、マスク着用、手洗い消毒等を徹底する。感染が発生した際には、直ちに状況を共有し、委託先施設長と協議の上、対応を検討する。

2、作業内容

- ・シーサイドホーム桂浜・つむぐ…メンテナンス業務
施設内の高齢者には十分に配慮しながら、安全に作業に取り組む。

3、目標売り上げ

委託費 2,880,000円/年

240,000円/月 (シーサイド 120,000円 / つむぐ 120,000円)

4、課題

- ・メンバーが、蒼空舎に出勤（水曜日）した際の1日の作業についてスケジュール化をする。

Ⅲ. ライフ・ステージ 第2あおぞら

A. リサイクルショップ、あおぞらショップ、バザー、メール便

管理者：下元 真人

1、メンバー活動

- ・作業を通して社会性を身につける事ができるように支援を行う。
- ・利用者自身が主体となる作業で、自身の能力や特性に応じた役割を担う事で働く喜びや達成感が持てるように支援を行う。
- ・個々の障害や心身の状態を理解し適切な支援を行う事で、健康の維持・増進に努める。
- ・利用者自身の意思決定を尊重出来る環境で、基本的人権が守られ、虐待・差別・不適切な行為・権利侵害を未然に防止出来る環境作りの支援を行う。

2、作業内容

①【リサイクル作業】

- ・店舗での接客とレジ作業
- ・商品の値札付け作業
- ・商品の仕分け作業
- ・商品の整理作業
- ・商品の回収・配達作業
- ・チラシの配布作業（お店の宣伝チラシ）

②【アンテナショップ作業】

- ・専門学校や特別支援学校への営業作業（文旦販売や加工食品販売）
- ・店頭で少量の物品販売作業

③【ゆうメール便】

- ・郵便局の配達作業

④【その他、清掃作業】

- ・高齢者施設のお風呂清掃作業（男湯・女湯・小浴室・家族風呂）4か所
- ・消費者金融無人契約室清掃作業（アイフル4か所・アコム3か所）
- ・芸術学園清掃作業
- ・個人依頼清掃作業

⑤【その他、ダンボール・金属回収作業】

- ・あおぞらファクトリーの段ボール回収作業
- ・特定のマンションの段ボール回収作業

- ・一般会社 2 社の段ボール回収作業
- ・アルミ缶回収や個人依頼の金属回収作業

⑥【その他、フリーマーケット】

- ・令和 7 年 6 月のフリーマーケットを最後とする。

⑦【その他、自動販売機】

- ・自動販売機横に設置している飲み物容器を捨てるゴミ箱中身の確認と清掃作業

3、目標売り上げ

- ①リサイクル・・・400 万円 ②アンテナショップ・・・30 万円 ③ゆうメール便・・・35 万円
 ④⑤⑥⑦その他・・・215 万円

総合売上目標・・・680 万円

4、課題

- ・職員の支援体制の見直し
- ・利用者個々の支援計画に基づく作業能力のスキルアップ支援
- ・フリーマーケット終了による新しい取り組みの検討
- ・技能実習生に対する対応や体制の検討

IV. ライフ・ステージ 春乃群青

A. あおぞらカントリー 花ハウス

支援員 : 谷脇 豊実

1、メンバー活動

- ・手洗い、消毒、感染時にはマスク着用、歯磨き支援等、活動時間の中で生活スキルが少しでも向上できるよう、見守りや言葉がけ等をしていく。
- ・花苗生産活動・野菜苗生産活動を主たる作業とする。

2、作業内容

- ・種まき、鉢上げ、手入れ、販売
- ・プランター植栽の納品
- ・請負花壇、プランターの維持管理作業

3、目標売り上げ

花ハウス売り上げ目標 2,000,000 円

4、課題

- ・体調不良を訴えれない重度のメンバーがいるため日々の様子を見ながら、健康管理に努めることが必要である。
- ・アセスメントを十分にとり、一人一人の特性に合った作業提供を行っていく。

C. 全体活動

管理者：林 愛佳

- ・群青では、作業（花ハウス、手袋内職）を提供していくが、強度行動障害を持たれている利用者もいるので、一人一人にあった個別支援を重視しながら支援を行っていく。そのためには、強度行動障害の研修を月一回（座学や、事例検討）を継続して取り入れ、障害特性や支援方法を学んでいく。
- ・余暇活動（陶芸、歌、創作活動、外出行事、体操）を取り入れていく。
- ・昼の上では、運動を兼ねた柔道を行ったり、横になったりと本人の体調や気持ちを尊重していく
- ・入浴支援を行い、皮膚の状態や清潔を保てるよう支援していく。
- ・散歩では、避難経路を散歩コースとしていく。
- ・個室を利用し、集団生活が苦手な利用者に対して落ち着いて過ごせる環境を提供していく。

工賃について

こうち福祉会

工賃については、各事業の授産収入から必要経費を差し引いたものを、各事業に従事したメンバーに配分をする。また、基本給については、工賃評価基準表に基づき10段階評価し、皆勤賞をとり入れ、支給している。評価については1年に1回行うものとする。但し、必要がある場合は、随時、評価の見直しを行う。

令和6年度 工賃実績・令和7年度 工賃目標

蒼空舎：就労継続支援B型

*高知県平均工賃月額算定方法により算出

事業	員数	工賃実績	工賃目標 (令和7年度)
蒼空舎 合計	42人	12,811,704円	14,112,000
〃 平均	42人	27,305円	28,000円

事業	員数	工賃実績 (令和6年度3月末見込み)	工賃目標 (令和7年度)
第2 あおぞら 合計	19人	5,012,600円	5,130,000円
〃 平均	19人	21,990円	22,500円

給食弁当

ライフ・ステージ 蒼空舎
あおぞらセンター
第2あおぞら
春乃群青

食品衛生責任者：久米ゆかり

1、年間計画

- ・4月に栄養所要量の算定、年1回の嗜好調査の実施、毎月の腸内細菌検査の実施をする。
- ・アレルギー、誤嚥等は、除去食、きざみ食で対応する。

2、地産地消

- ・蒼空舎の畑で取れた野菜や四季折々の旬の食材を多く献立に取り入れる。できるだけ国産にこだわり、あおぞらの加工品も取り入れ、食材費に努めるようにする。

3、衛生について

- ・「HASSAPに沿った衛生管理」の制度化に伴い、安全性に注意し、食中毒の予防に努める。
- ・個人が衛生チェックをする事で、意識をもって仕事にあたる。

4、環境、防災への取り組み

- ・生ゴミはコンポストを使用し、廃油は外部委託し、ゴミの削減に努める。
- ・急な災害時等に対応していくため、平常時からBCPを準備しておき、備蓄品として、米10袋、乾物、缶詰や、冷凍などの在庫品を使用し、3日分の食事提供できるように備えておく。その為のメニューもあらかじめ考えておく。

給食に関する基本情報

「バランスの取れた食事と安心の食材」

- ・季節のものを多く取り入れ、彩りはもちろんのこと栄養面についても考える。メニューも飽きが来ないように少量多種を目標に献立を考え、できる範囲で行事食も取り入れ美味しく安全な弁当作りをする。又、節季には季節感を大事にした特別弁当を用意する。
- ・献立を各家庭、グループホームに配布し、1日3食バランスの取れた食事の参考にしてもらう。

V. ライフ・タウン あおぞらホーム

VI. ライフ・タウン 蒼空舎

—共同生活援助・介護サービス包括型—

管理者：杉本 郁

1、事業目的

共同生活援助（包括型）事業の円滑な運営管理を図るとともに、共同生活住居において、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な障害福祉サービスを提供することを目的とする。

2、ライフ・タウン23ホーム

—ライフ・タウンあおぞら—

① あおぞら第一	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H11年10月（定員5名）
② あおぞら第二	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H11年10月（定員5名）
③ あおぞら第三	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H12年10月（定員2名）
④ さわやか	高知市朝倉甲	法人住宅	H13年10月（定員5名）
⑤ ふれあい	高知市神田	県営住宅	H14年10月（定員4名）
⑥ 若いづみ	高知市朝倉丙	マンション	H18年 4月（定員4名）
⑦ ひまわり	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H20年10月（定員5名）
⑧ つくし	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H21年 4月（定員6名）
⑨ ふきのとう	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H21年 4月（定員6名）
⑩ たんぼぼ	高知市朝倉丙	マンション	H21年 4月（定員4名）
⑪ 野の花	高知市朝倉丙	マンション	H21年10月（定員6名）
⑫ ほの風	高知市朝倉丙	マンション	H22年 3月（定員5名）
⑬ みづき	高知市朝倉甲	ユニオンハイツ	H23年 1月（定員6名）
⑭ 野うさぎ	高知市朝倉甲	法人住宅	H23年 7月（定員5名）
⑮ よさこい	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H23年 7月（定員5名）
⑯ ひだまり	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H23年11月（定員4名）
⑰ なごみ	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H25年 3月（定員2名）
⑱ ひづき	高知市鴨部	コーポ朝日Ⅷ	H25年 3月（定員6名）
⑲ ときわ	高知市鴨部	シティ次郎丸	H25年 3月（定員4名）
⑳ ひより	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H26年 3月（定員4名）
㉑ まほら	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H26年 3月（定員4名）
㉒ あかり	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H27年 3月（定員4名）
㉓ のどか	高知市朝倉甲	グレートハイツ	H27年 3月（定員4名）

——ライフ・タウン蒼空舎——

- | | | |
|----------|---------------|----------------|
| ① オリーブの家 | 高知市春野町平和 法人住宅 | H13年10月 (定員5名) |
| ② オリーブの丘 | 高知市春野町平和 法人住宅 | H13年10月 (定員4名) |

3、節季・生活の彩り

<年間行事計画>

- ・お花見 (4月)
- ・日帰り旅行レオマワールド (5月)
- ・ビアホール (8月)
- ・高知コーラス合笑団 (11月)
- ・もちつき (12月)
- ・迎春 初詣 (1月)
- ・各メンバー誕生月にお誕生会及び外食

4、見学・体験入居

特別支援学校等の校外学習・PTA等の見学の受け入れグループホームの空室を活用した体験利用などを実施し、安心して地域生活に移行できるよう支援します。

5、高知保護観察所委託業務

保護観察所から委託を受けて、刑務所出所者等に対して宿泊場所(自立準備ホーム)や食事を提供し自立のための支援を行います。

6、夜間支援・防災警備

夜間体制については夜間支援員を配置し、夜間の見回りを行うとともに2事業所に宿直者各1名を置きます。

警備会社のオンラインセキュリティサービスを採用し24時間の防災監視について委託。異常を感知した際は、警備会社コントロールセンターに自動通報され、警備会社の緊急対処員が最寄りの発信基地より現場急行し必要な処置を行うとともに、施設管理者及び宿直者へも連絡されるシステムとします。

7、防災計画・訓練

- ① 年4回【5月・8月・11月・2月】の防災訓練を実施し、日頃から避難路・避難場所の確認など防災意識を持って頂き利用者が速やかに避難できるように取り組んでいきます。
- ② 防災設備が、有事に際し有効に機能するように日常の保守点検を行います。
- ③ 地域の防災訓練に積極的に参加します。
- ④ 1週間分の災害食、水の確保、賞味期限を把握し、朝夕利用し新たな災害食を確保していきます。

9、家賃補助

特別支援学校卒業後の無年金者や、就労移行を目指しているが、直ぐには収入が得られない方などに法人独自の家賃補助を行います。

VII. ライフ・タウン 群青の風

—共同生活援助・日中サービス支援型—

管理者：沖 太志

1、事業目的

共同生活援助（日中一体型）事業の円滑な運営管理を図るとともに、共同生活住居において、利用者の意思及び人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な障害福祉サービスを提供することを目的とする。

また、利用者（保護者）及び支援者の同意の上で、各居室に設置している監視カメラの確認により、緊急時の対応や虐待等の確認を24時間体制で行うものとする。

2、定員

9名（内1名は短期入所）

3、節季・生活の彩り

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、行事を実施していきます。屋外での行事も取り入れながら実施して行きます。

4、短期入所

高知市障害福祉課及び各、相談支援事業所と連携を取りながら、緊急性を必要とする利用者等の受け入れを行って行きます。

5、夜間支援・防災警備

夜勤者 2名。

防災の緊急システムで消防への直通電話の設置や、緊急時の対応で避難確保計画に則り、消防及び警察各関係機関への通報及び連絡を行う。

6、防災計画・訓練

年4回【5月・8月（水害）・11月・2月（地震）】の防災訓練を実施し、日頃から避難路・避難場所の確認など防災意識を持って頂き利用者が速やかに避難出来るように取り組んでいきます。

併せて防災設備が、有事に際し有効に機能するように日常の保守点検を行います。

夜間の消防立ち合い訓練の実施。

1週間分の災害食・飲料水の確保。賞味期限を把握し入れ替えを行って行く。

自立支援協議会

地域連携推進会議

・自立支援協議会

障害のある方、障害のある子ども、その保護者等への支援の体制の整備を図るため、高知市自立支援協議会と協議を行って行く。

開催：年4回

場所：総合あんしんセンター 3階大会議室（高知市丸の内1丁目7-45）

時間：18:30～20:30

・地域連携推進会議

7年度より義務付けられている地域連携推進会議の目的を踏まえて、会議の構成員は、利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見のある人、経営に知見のある人、施設等所在地の市町村担当者などを選出する。会議の構成員は地域連携推進員として施設等への訪問を行う。地域連携推進会議で施設等が行った報告、構成員から受けた要望、助言等についての議事録を作成し、議事録を閲覧可能とします。施設等を訪問した際、利用者の個人情報に触れる可能性があるため、構成員に、利用者の個人情報の秘密保持に関する約束をしていただく。

VIII. ライフ・サポート あおぞら

指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

指定一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

相談支援専門員：林 幸孝

①特定相談（いの町委託含む）

1、人員について

- ・相談支援専門員 専従2名 サポート支援員2名
- ・研修や各自自治体が実地している連絡会や会議等に参加し、他事業所やさまざまな業種の方々との連携を図ると共に相談支援専門員としてのスキルアップを行っていく。また、事業所内でも勉強会を適宜行うなどして支援スキルの底上げを図っていく。

2、活動内容

○令和7年度予定件数

新規・有期 210件 モニタリング 330件

高知市調査表 130件

- ・報酬単価が機能強化型Ⅱ→機能強化型Ⅲに変更されるため単価が下がる。
- ・いの町の特定相談の委託は継続。委託料4,400,000円

○活動内容

- ・計画相談の対応（有期月更新、新規サービス、追加サービス、モニタリング）
- ・担当者会の企画、開催。各会議への参加
- ・福祉サービスの各事業所や社会資源の見学、紹介、情報提供
- ・通院の同行、入退院の対応、医療機関との連携
- ・各自治体の連絡会や勉強会、各種研修への参加。資格取得や更新の対応 等

3、課題

- ・令和6年度に特定相談で関わっていた相談支援専門員2名が南部の高知市委託相談へ異動となるので、現状の担当件数を新入社員相談支援専門員を含む専従2名、サポート支援員2名で対応していく必要がある。また、サポート支援員1名が相談支援専門員の資格を早めに取得し、機能強化型Ⅱに戻せるようにしていく。
- ・特定相談の事業所が減少している事で1人が担当として持つ件数が年々と増加しており、1人に対する関わりが減っている。
- ・新規契約者の8割くらいが、精神、発達の方が占めており、専門的な知識や支援が必要となってくる。

②高知市委託相談南部エリア

相談支援専門員2名を配置し、高知市の委託相談については、高知市の計画に従って行っていく。

外国人技能実習研修

外国人技能実習研修生を4名受け入れます。あおぞらセンター、蒼空舎、あおぞらホーム、第2あおぞらに1名ずつ配属を予定しています。

障害者支援活動

- ・事業別支援会議を月1回以上、グループホーム世話人会を月2回以上、運営委員会を月1回開催し、情報の共有化、支援技術の向上を計ります。また、内部分掌部会（研修や事業、防災など）を月1回行い、法人全体の情報を共有していきます。
- ・家庭との連携による支援体制の強化に勤めます。
- ・利用者の置かれている環境及び、日常生活全般の状況等を通じて利用者及び、その家族が希望する生活や課題を明らかにするため、アセスメントを丁寧にとっていきます。本人の意思決定を尊重し、適切な支援内容の把握に基づき到達目標を設定し本人に同席してもらい、個別支援計画会議を経て個別支援計画を作成します。また、6カ月以内にモニタリングを行い必要時に応じて、支援計画の変更を行って

いきます。それに併せて、重度加算（共同生活援助、短期入所、生活介護）を算定するため強度行動障害アセスメント、日々の手順書の記録を行っていきます。

- ・法人研修として、専門知識を持って支援にあたるよう、継続して強度行動障害研修を行っていきます。また、虐待防止や権利擁護の研修にも参加し、利用者一人一人の権利や意志も尊重していきます。
- ・虐待、身体拘束、感染、BCP 等はそれぞれで決められている時期に訓練や研修、会をもち職員に周知していきます。
- ・法人全体を ICT で繋ぐことで、情報の共有をしていきます。

利用者の地域生活活動

- ・自治会（基本的に毎月 1～2 回実施する。）
- ・カラオケ
- ・旅行（年 1 回、日帰り旅行又は一泊旅行を実施する。）
- ・もちつき大会
- ・プールや川遊び
- ・創作活動
- ・あおぞらで歌おう
- ・体操教室（あおぞら体操、いきいき 100 歳体操）
- ・障害者作品展
- ・陶芸教室
- ・流しそうめん
- ・BBQ
- ・映画鑑賞
- ・花見
- ・スポーツ大会

※上記以外にも生活のメリハリをつけるためにも四季折々の行事は取り組んでいく。

安全・衛生活動

- ・防災避難訓練
年 3 回実施（消防署立会い・1 回、自主訓練・2 回）
- ・健康診断
年 1 回実施
- ・給食、食事指導
咀嚼、偏食の指導
歯磨き指導
- ・自転車点検 月 1 回実施
- ・衛生指導 感染症の予防（手洗い、うがい等）
施設内の消毒、検温

職員構成

管理者	8名（兼任）
事務長	1名（兼任）
事務員	1名（兼任）
サービス管理責任者	10名
（あおぞら／1名、春乃群青／1名、蒼空舎／2名、第2あおぞら／2名、あおぞらホーム／3名、蒼空舎ホーム／1名、群青の風／1名）	
相談支援専門員	4名
相談支援助手	2名
支援員	21名
（あおぞら／4名、春乃群青／4名、蒼空舎／9名、第2あおぞら／4名）	
共同生活支援員	24名
（あおぞらホーム／19名、蒼空舎ホーム／2名、群青の風／3名）	
日中生活支援員	11名
看護職員	3名（嘱託2名、非常勤1名）
調理員	4名
（あおぞら／1名、蒼空舎／1名、第2あおぞら／1名、春乃群青／1名）	
計	90名（80名）

技能実習生	4名
（あおぞら／1名、蒼空舎／1名、あおぞらホーム／1名、第2あおぞら／1名）	
嘱託医	1名
委託看護師	2名
会計士	1名
講師	4名
（ちぎり絵、体操、合唱、陶芸）	
家庭生活支援員	13名
夜間支援員	20名

内部分掌・各種委員会活動

社会福祉法人こうち福祉会

年間計画は別紙の通りとなっています。